



「^{としは}年果てる月」の充実を

「師走」の語源は、師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月（「師馳す」）という説のほか、「年が果てる」と言う意味の「^{としは}年果つ」が変化したという説もあるようです。様々な出来事があった平成19年（2007年）も、いよいよ年果てる月を迎えました。ここで改めて年の初めの誓いや願いを思い起こし、残りの日々を充実させていきたいものです。

さて、これまで業間時の「青空マラソン」等で練習を重ねてきた持久走ですが、11月30日に早稲田大学構内で大会を実施いたしました。時折小雨が降る天候でしたが、予想以上にたくさんの保護者の皆様においでいただき、子どもたちは心強い声援を受けながら、練習の時よりずっといいタイムで走りきることができました。



教職員もがんばっています

本校で教育指導を進めるに当たり、本年度は「基礎的・基本的内容の確実な定着」と「表現力の育成」の2つを研究課題として研究に取り組んできました。現在、指導者を招いて、これまで各学年で取り組んできた内容の実証授業を行い、協議を進めているところです。

また、11月27日には三ヶ島中学校でも4学級で授業を公開し、授業後、三ヶ島小・中、林小の3校の教員で研究協議を行いました。3校の職員は、子どもたちの教育の充実を目指し、まるで一つの学校の職員であるかのように活発に意見を交換し合っていました。



2年3組国語授業



三ヶ島中学校での研究協議